

# 踏み跡 <My Mountains>

御坂	笹子から鶴ヶ鳥屋山	No.284
----	-----------	--------

平成9年10月26日  
恒例となったユニシス山中湖マラソンの翌日の山登り。  
ここ何年か御坂の稜線でまだ登っていない山を潰していくことを進めてきた。この筋書きの延長線上の山として、今回は鶴ヶ鳥屋山(つるがとややま)を選んだ。  
山中湖畔のセブンイレブンで昼食とフィルムを買って9時に出発。天気が良いので忍野で朝の富士を撮影することにして寄り道。  
すっきりした青空に秋色の山肌で精悍な面構えの富士が出迎えてくれた。西から駆け上がり始める雲と中空に舞うハンググライダーを追いかけて、しばしファインダーに釘付けのひとつときを楽しんだ。



大月へ出て国道20号線を西へ向かい、笹子駅に10時30分着。  
駅裏の山道に駐車して身支度してすぐに出発。船橋沢に沿って歩き始めたが、沢の奥で踏み跡を失ってしまったので、堰堤から右手の小尾根に取り付き北面を巻きながら藪こぎをして登って行くと上の林道(海拔1000m位か)に飛び出すことができた。時計を見ると11時50分。時間もちょうど良いので日当たりの良い場所を探して15分ほど歩き昼食。昼食の後は恒例の昼寝。  
13時15分出発。林道はかなり西寄りに飛び出してしまったので、元のルートに戻るべく林道を東へ向かう。深く広い笹子川の谷間の向こう側に、肩を怒らせた風格ある滝子山の姿が美しい。  
13時30分、主稜線に上がると思われる登山路を発見し真南へ尾根を直登。僅かな時間で主稜線上の1308m峰に到達。  
主稜線を東へ、頂上まで標高差はわずか70m程度なので気持ちよく歩くことができる。広葉樹に包まれた馬の背のような柔らかい稜線の一番高いところに一筋の登山路が落葉に埋もれて一直線に走っている。  
鶴ヶ鳥屋山14時10分(1374.4m)。頭頂部だけが伐採されて、周囲の広葉樹の落葉を集めた鶴ヶ鳥屋山は、三角点と頂上を示す標識があるだけのシンプルで物静かな頂上。(右写真)  
ひととおり写真を撮った後、少し西へ移動して富士山が良く見える伐採地で再び中休止。三ツ峠の後ろに白い富士がまだ雲に襲われることなく見えている。本社ケ丸へと緩やかに登って行く主稜線の柔らかなカーブが、いかにも御坂らしい。  
下りは注意深く確認しながら・・・、1308m峰から北に伸びる尾根を下って林道に15時50分着。  
林道への下降点には、登りの時に見やすいように「山道」と書いた看板が置いてあった。また林道から沢への下降点には、No.19 鉄塔への入り口表示とともに送電線工事に伴う迂回登山路の説明と表示の看板があった。林道を横切って、初狩から笹子にかけての箱庭のような景色を眺めながらさらに一直線。  
今朝ルートをミスした堰堤に無事到着。今朝のミスの分析をして見た。堰堤を越えた後さらに沢沿いに南向きに登って行くべき所、左岸の杉林の作業路に引っ張られてしまったのが原因と判明。後から下ってきたパーティが全く同じ誤りをしたと言っていた。堰堤の前後に標識が必要かもしれない。  
笹子駅16時40分着。汗を洗い流して17時に出発。地元の酒造「笹一」で酒を一本買って帰宅の途に就いた。帰り道は比較的スムーズで、20時20分に自宅に帰着。

